

ぼうしかぶって



三浦 太郎/作・絵
童心社
N/D/あ

たたたたとやってきたのは、なすのとうさん。
むらさきの ぼうしかぶっていってきまーす。
どどどどとやってきたのは、パイナップルの
いさん。かっこいい ぼうしかぶっていってきまーす。
”さささささ”、”ばばばば”・・・とみんなつぎつぎ
やってきて「ぼうしかぶっていってきまーす」

あみ



中川 ひろたか/作
岡本 よしろう/絵
アリス館
Y/R/な

みのまわりには、いろんな あみがある。
たとえばいえの あみど。むしがはいてこないように
するもの。むしとりあみやバトミントンのラケットもあみ。
もし、ただの ふくろや、いたでできていたらどうだろう？
どうやら、あみにはいろんな やくめがあるみたいだ。
あみをしればしるほどおもしろい。
”あみて すごい！”

うみのあじ



たけがみ たえ/作
あかね書房
Y/D/う

わたしは、いぬのべら。
おうちのおとうさんとなつことはじめてのうみ。か
ぜのにおいをかぎながらにもつのぼん。なかみの
おべんとうは、よいにおい。かぐだけかぐだけ・・・。
のどがかわいてきたのでうみのみずをぺちよつ。
しょっぱい！でもいろんなだしがきいている。
うみのなかは、なにがいのかな？とのぞいて
いると・・・。

いすうまくん



かどの えいこ/作
こうもと さちこ/絵
福音館書店
Y/E/い

なつやすみ。タックンは、おとうさんとおばあちゃんちに
いきました。ろうかのつきあたりのものおきにはふるい
ものがいっぱい。そのなかにおとうさんがちいさいころ
つかっていたふるいはちまきがまかれましたと、とん
ぼもようのついたむぎわらぼうしがありました。タックン
がそのぼうしをかぶると、なんといすがうごきだして、
”いすうまのり”にのってとさそうのです。タックンがいす
のせなかのほうをむいてまたがると・・・。

ぼくのわたしの たからもの



稲田 務/作
福音館書店
Y/K/B/か

ともだちがたからばこをみせてくれたよ。
ゆみちゃんのたからものはかいがら。そのなかでも、
くるくるってまいているのがすきなんだって。みる
ちゃんのかわでひろたいし。ざらざら、すべす
べ・・・いろんないしをもってかえてえをかいたん
だって。みちでひろったじてんじあのベル。こわれて
いるけどただしちゃんにとってはたからもの。
それぞれみんなすてきなたからもの。
きみももっているかな？たからもの。

ええことするのは、 ええもんや！



くすのきしげのり/作
福田 岩緒/絵
えほんの杜
J/S/え

あつひの がっこうの かえりみち、マナブは、くるま
いすのでんきがきれてうごかなくなつてこまっているおっ
ちゃんを、コンビニまでおしていくことにしました。
そのようすをみたひとから”ええことしてるね” ”えらい
ね”とほめられたマナブは、ともだちがおしたいといつ
ても「ひとりでじゅうぶん」とちょうしにのり、コンビニより
おいしいえまでおしていきとはりきります。
しかし、コンビニをとおりすぎると・・・。